



久保田幸治議員

◇政権交代による事業影響について

【質問】 政権交代による市の施策の今後と地域への影響についてどのようなことを想定しているのか。

【答弁】 国土交通省関係で河川整備や中央橋関連でどのようになるか心配している。

現在市が予算措置をしている事業は、国の緊急経済対策ということで、20年追加補正、21年当初予算、6月補正予算、7月臨時議会、9月補正予算で予算措置をして議案を提出している訳だが、民主党は今年度予算も一部見直すと言う報道がある。その中に9月補正で提出したものが一部ある。どのようになるか心配している。国、県が一度内示をしたものは財源として担保してほしいと思っている。



水野英夫議員

◇観光行政について

【質問】 観光協会と振興公社の統合について。

【答弁】 12月頃概要を示したい。基本的には事務所は庁外に出すべきと思うが、仕事内容を見ながら判断していきたい。

【質問】 J R デステイネーションキャンペーンについて。

【答弁】 来年本番の J R のこのイベントには新幹線開業を控え全力で取り組みたい。今年はプレキャンペーンとして「日本のふるさと歩こさいいやま」のタイトルで取り組む予定である。

◇新幹線について近隣の協議の状況は

【答弁】 広域の駅であると言うことで、周辺市町村には以前からそしてこれから

◇山枯れによる防災対策について

【質問】 山枯れによる防災対策についてどのように考えているのか。

【答弁】 集落の家屋に危険が及ぶような所は優先的にチェックして対応していく。間伐は森林組合と相談して積極的に対応していく。

◇人形館の宣伝について

【質問】 高橋まゆみ人形館の宣伝が不足だと言うが。

【答弁】 各課の横の連絡を密にし、マスコミ等を通じしっかりと宣伝し、来年4月の開館をめざしたい。



も訴えていくが、現状の景気状態や財政状況により、各自自治体には温度差がある。負担金等の話も内々に打診をしている状態である。工事の進み具合等タイミングも大事であるので、慎重に進めていきたい。



飯山駅西側の様子

◇職員意識の高揚と配置について

【答弁】 大多数の職員は地方公務員としての立場をよく理解し職務に当たっている。職層別、年代別に職員研修を行っている。各人の適正を判断して適正配置している。また、人事評価については、目標管理を重点に実施しているが、さらに検討中である。

【質問】 重大事業を控え機構改革が必要では。

【答弁】 現在総務部企画財



山枯れの様子



高橋正治議員

◇介護保険の実態と福祉医療について

【質問】 介護保険は今年4月から認定基準が変わり、新しい基準に基づき見直しが行われたが、この見直しで今までの認定基準より介護認定が軽くなったという人が大変多くいると言われている。飯山市の実態と現状はどうか具体的に明らかにしてほしい。次に重度

政課を中心に、重要案件についてはプロジェクトを組み対応しているが、機構改革を含め柔軟に対応していく。活性化センター職員についても今後各地域の実情を見ながら検討したい。

なお正規職員255名、嘱託臨時含め530名職員がいるが、職員の倫理観や気概を維持しつつ嘱託職員等の待遇についても若干の改善をしている。



望月弘幸議員

◇住宅施策について

【質問】 賃貸住宅の入居状況について空き部屋の実態は。民間アパートや公共住宅の実態状況は。

【部長】 民間アパートは市内で1割位空いている。市営住宅は現在空きがなく適正である。

【質問】 アパート経営者の中には空室で経営が苦しい



2000万円住宅モデルプラン

人もおり、入居希望者も家賃が高く感じる人もいる。移住・定住策として入居者の家賃補助を創設したらどうか。

【部長】 入居者の家賃補助は考えていない。市では移住・定住支援、親子等同居支援の施策として補助支援を進めている。

◇2000万住宅について

【質問】 銀行からの融資を受けるのが困難な方に対して新たな融資制度の創設や市として何らかの対策は。

【市長】 飯山市土地開発公社の売れていない土地等の見直しをしている。何らかの形での補助を考えている。今後金融関係とも相談して進めていく。

の中で旧認定と比較した場合、軽くなった人は16%45人、重くなった人は4%10人、変化なしは221人80%という状況である。軽い人についても経過措置として1年間は今までどおりとなっている。この10月から認定基準が変わると言うことで新しい方法で実施されることとなっている。



うがい・手洗いを習慣に

◇農業行政について

【質問】 「農地法等の一部を改正する法律案」が年内施行になる。農業委員会の人的体制と活動予算の確保。事務局体制の強化が必要と思うが。

【部長】 農業委員会の体制が今後ますます大事になる。新体制整備が必要である。新年度に向けて考えていく。

◇教育行政について

【質問】 携帯電話は現代社会において便利な機器であり必要性はわかるが、その一方子供達にとつては「いじめ」の道具になっている

他、事件に巻き込まれる危険性を持っている。「いじめ」をなくす観点から小中学校に子供達が携帯電話を持つてこないよう実施しては。

【教育長】 「いじめ」についてネット上の問題が多い。携帯電話は必要ない・持たせないということでも小中学校において徹底している。子供だけでなく親・PTA等において総合的な命の教育に取り組んでいく。